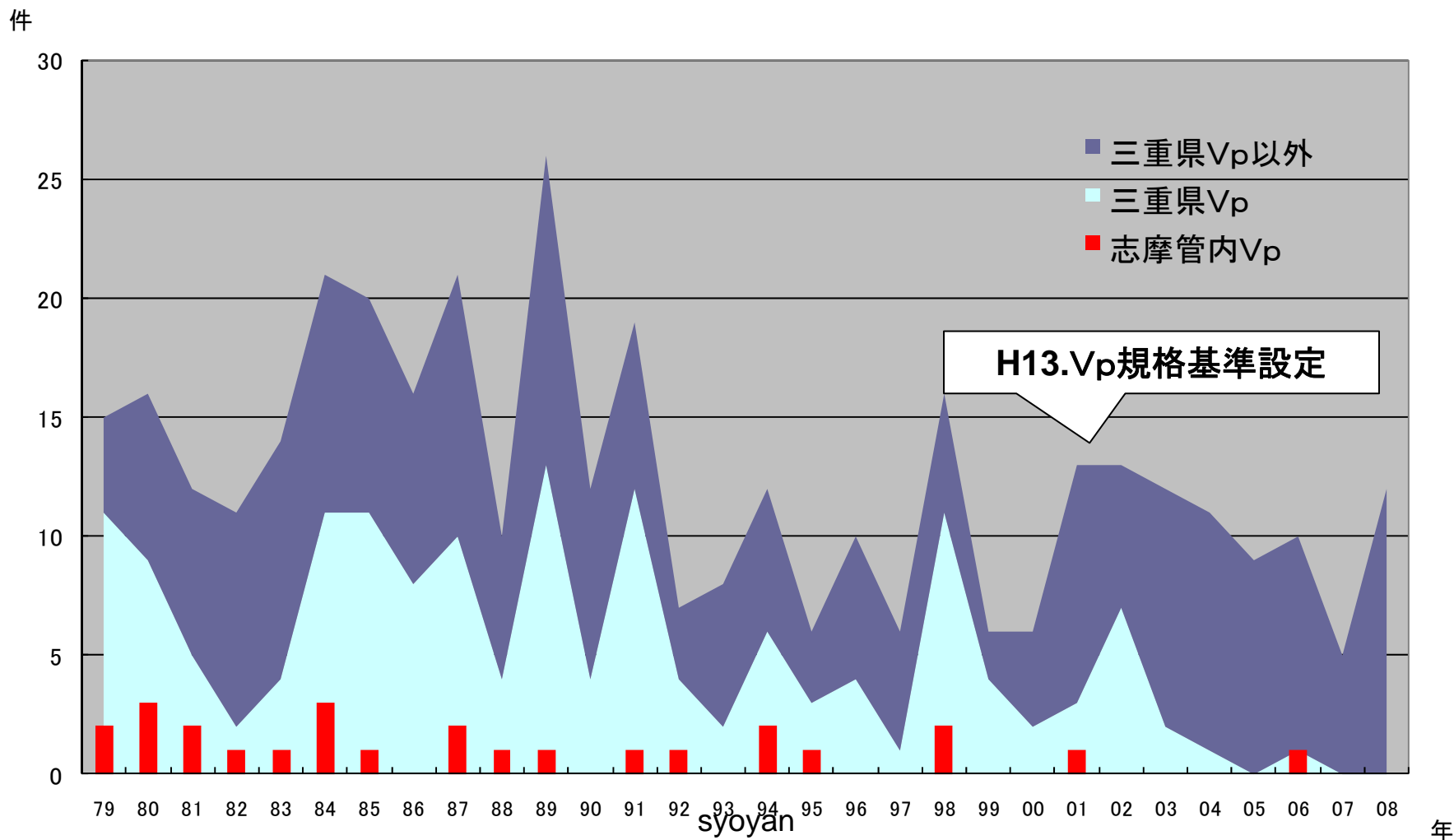


腸炎ビブリオ (Vp) 食中毒発生状況(1979-2008) 三重県・志摩管内

三重県の腸炎ビブリオ(Vp)食中毒発生割合



三重県の海

三重県は伊勢湾（内海）、熊野灘（外海）の二つの海に面している。

志摩半島から熊野灘にかけてはリアス式海岸が続き海の国立公園に指定されている。

伊勢湾は、木曾三川など多くの河川流入による陸水の影響が大きく、干潟、遠浅を形成し、かつては白砂青松の海岸が続いていた。プランクトンが豊富な海である。

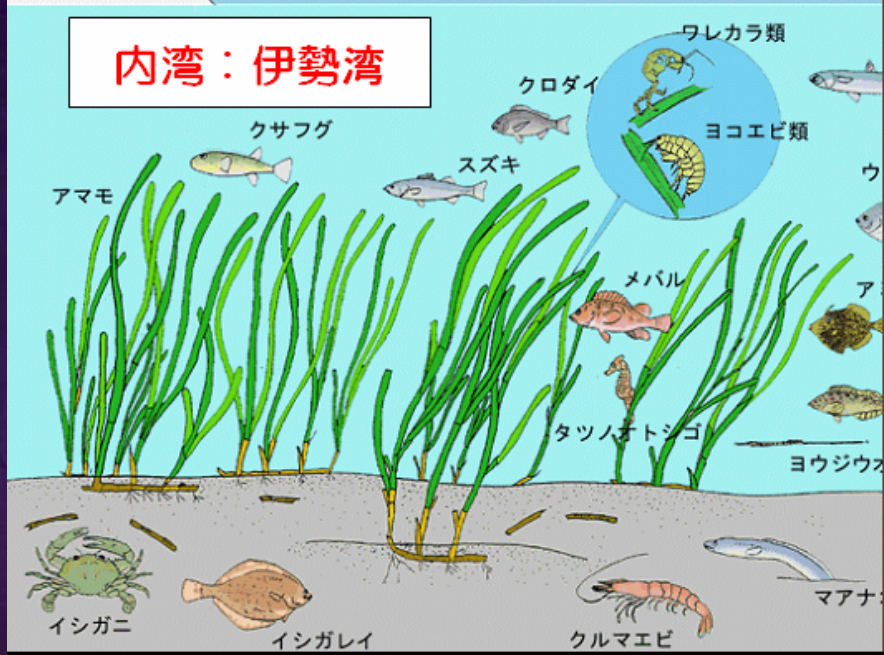
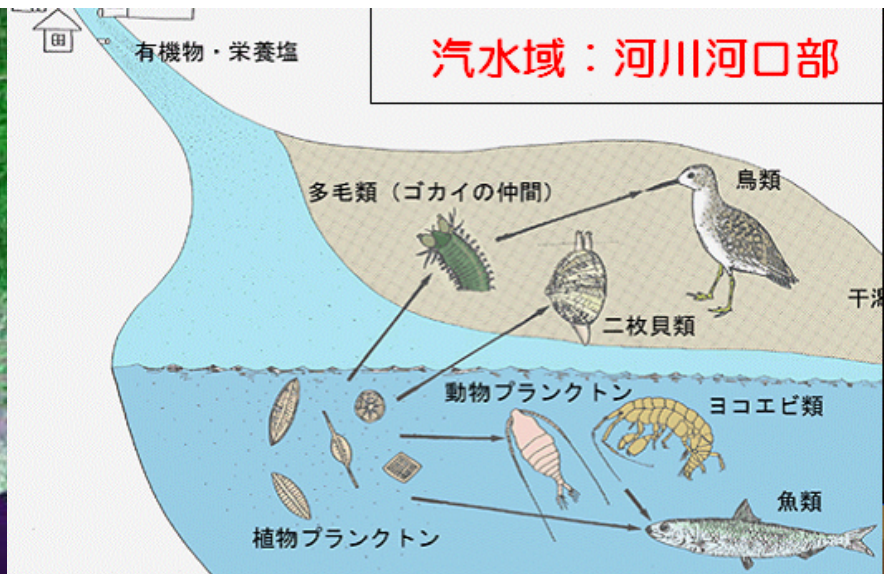
他方、熊野灘は黒潮に洗われ、河川水の影響の少ない海である。

三重県における海と関連する健康被害は、伊勢湾沿岸と熊野灘沿岸では大きく様相が異なる。

伊勢湾口から熊野灘沿岸まで両方の海に面した志摩半島を所管したのがかつての志摩保健所（現在伊勢保健所）であり、腸炎ビブリオ食中毒が多く発生した。



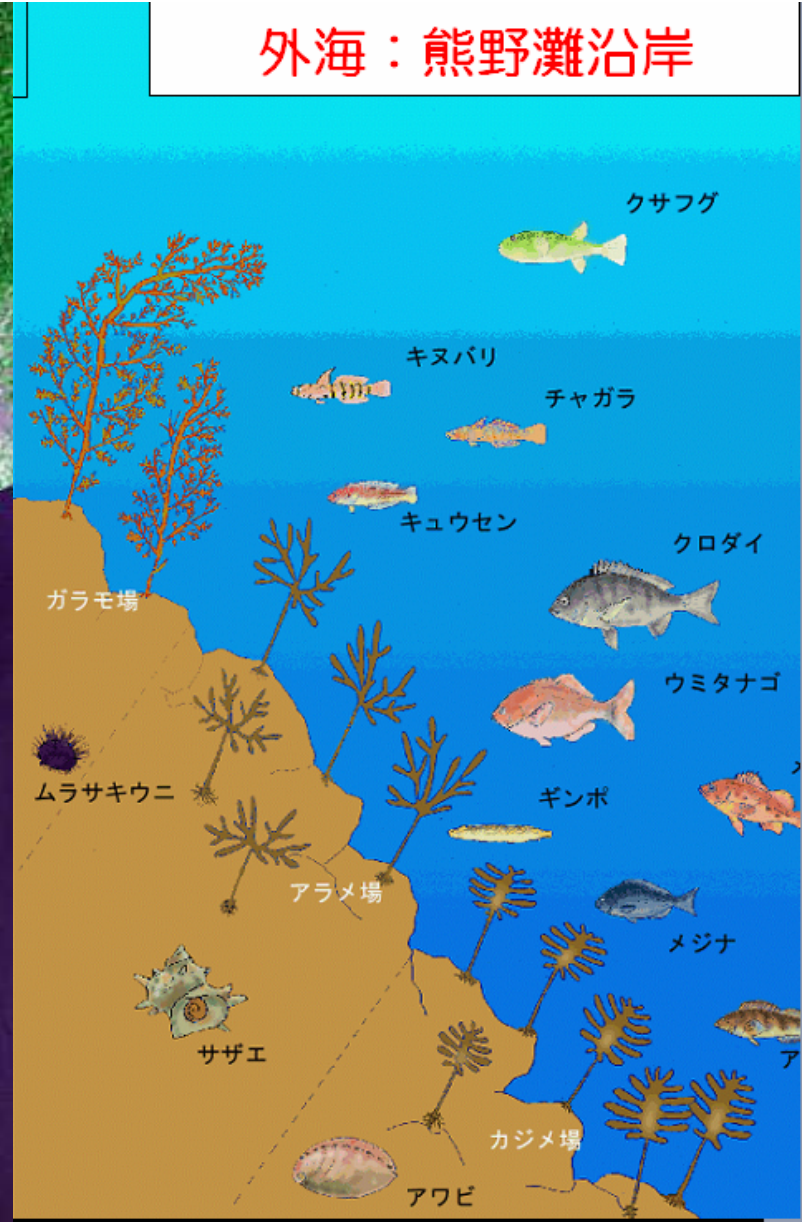
伊勢湾の海の状況



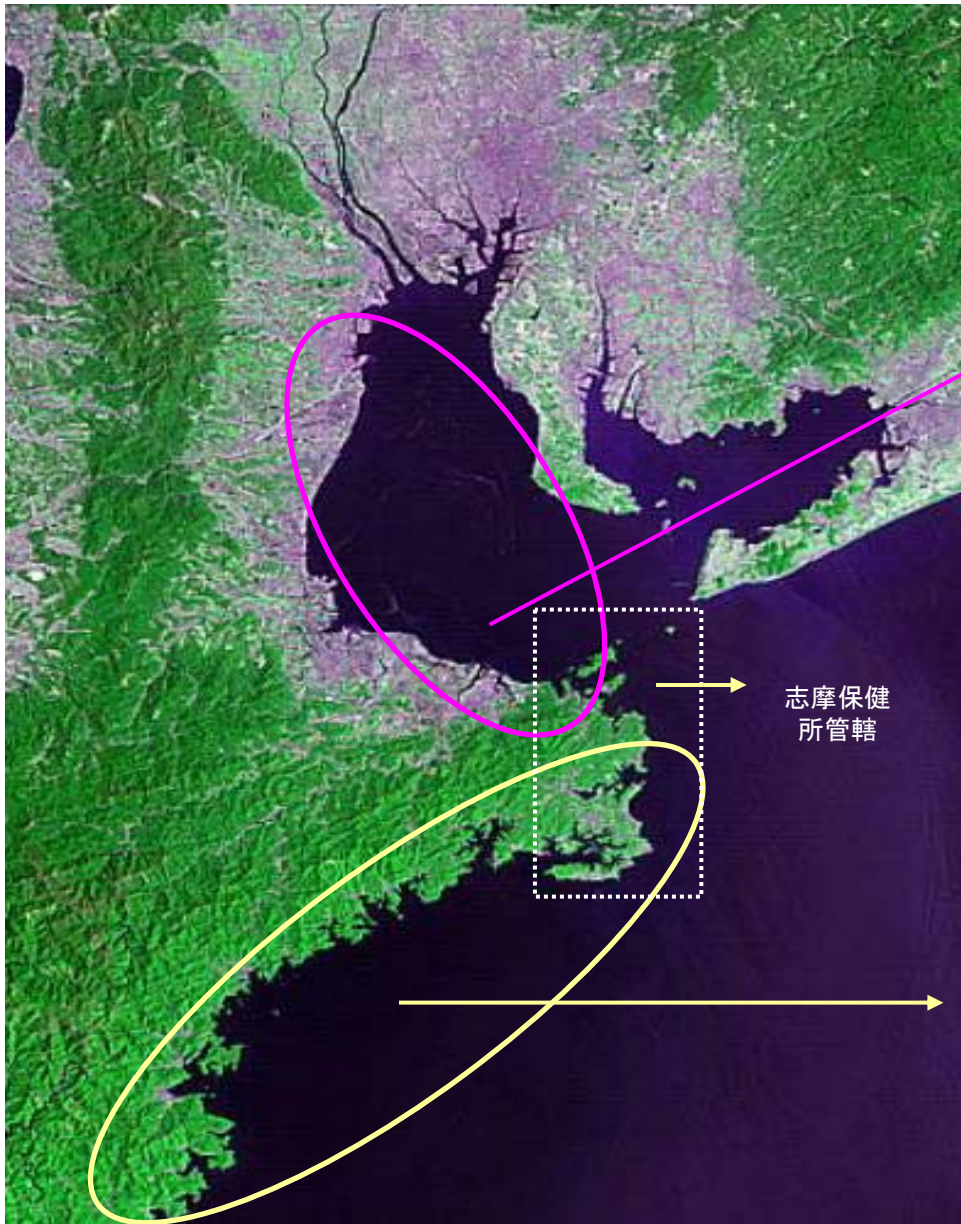
熊野灘の海の状況



外海：熊野灘沿岸



三重県の海の状況と健康被害



伊勢湾（内湾）

【腸炎ビブリオ食中毒】 1979年～2008年

・発生件数：155件 患者数：6192名

・集団食中毒・大規模食中毒

・魚介類・二枚貝・・・二次汚染

☆豊かな栄養と漁獲

熊野灘沿岸（外海）

【赤潮と有毒プランクトン】

・1975年：麻痺性貝毒検出（尾鷲湾、日本初）

アサリ・ムラサキガイの毒化

・貝毒モニタリング（伊勢湾を含む）

【自然毒食中毒】

・1977年3月：麻痺性貝毒健康被害事例（15名）

原因：アサリ

・1983年2月：アオブダイ食中毒

肝臓摂食：患者2名（1名死亡）

1995年9月：同様事例1名

・フグ中毒1979年～2008年

9件 患者数10名→ 6名死亡（素人料理）

ヒガンフグ、コモンフグ、ショウサイフグ

※2008年 釣魚によるシガテラ中毒の疑い（県外）

志摩保健
所管轄